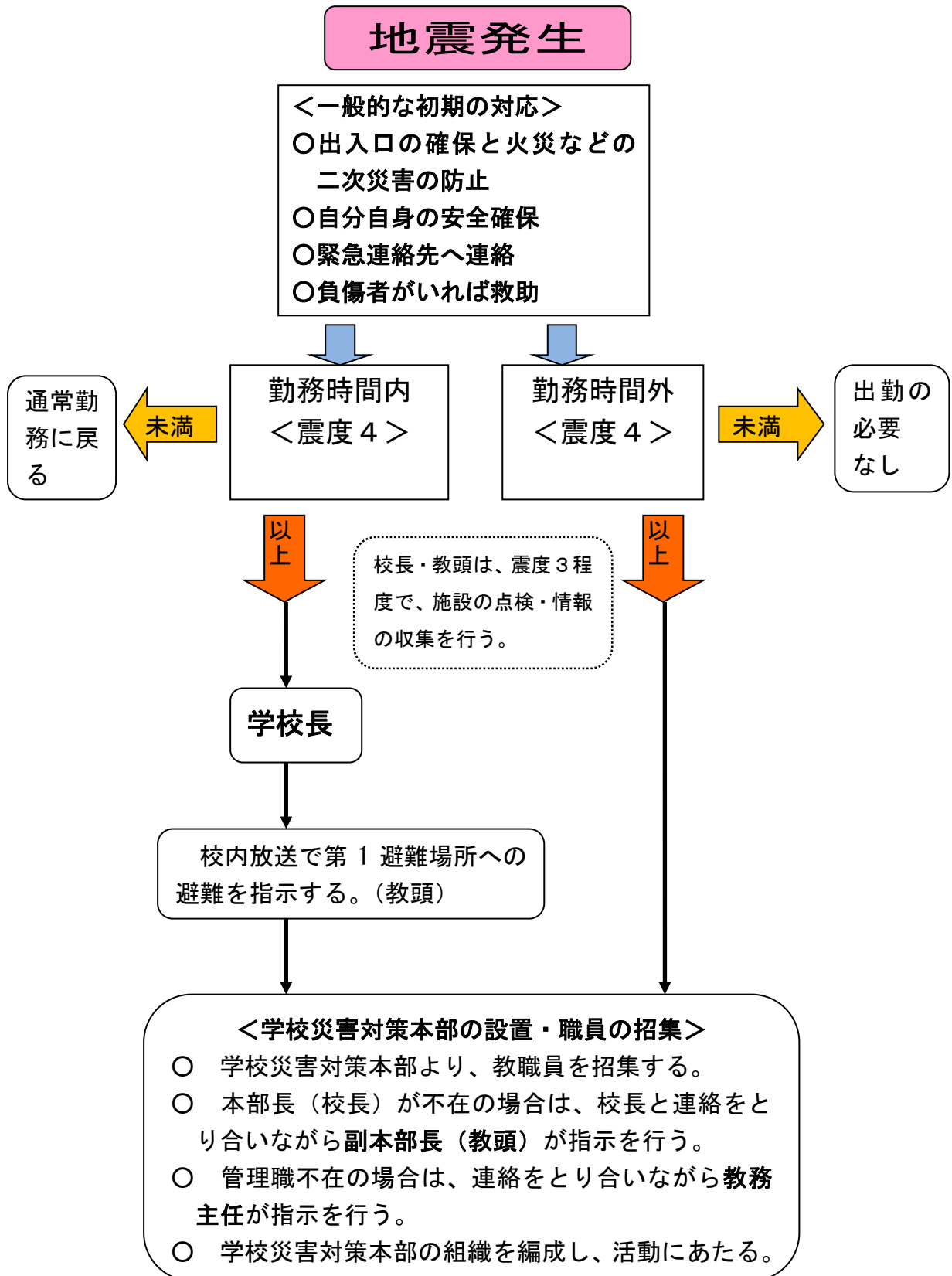
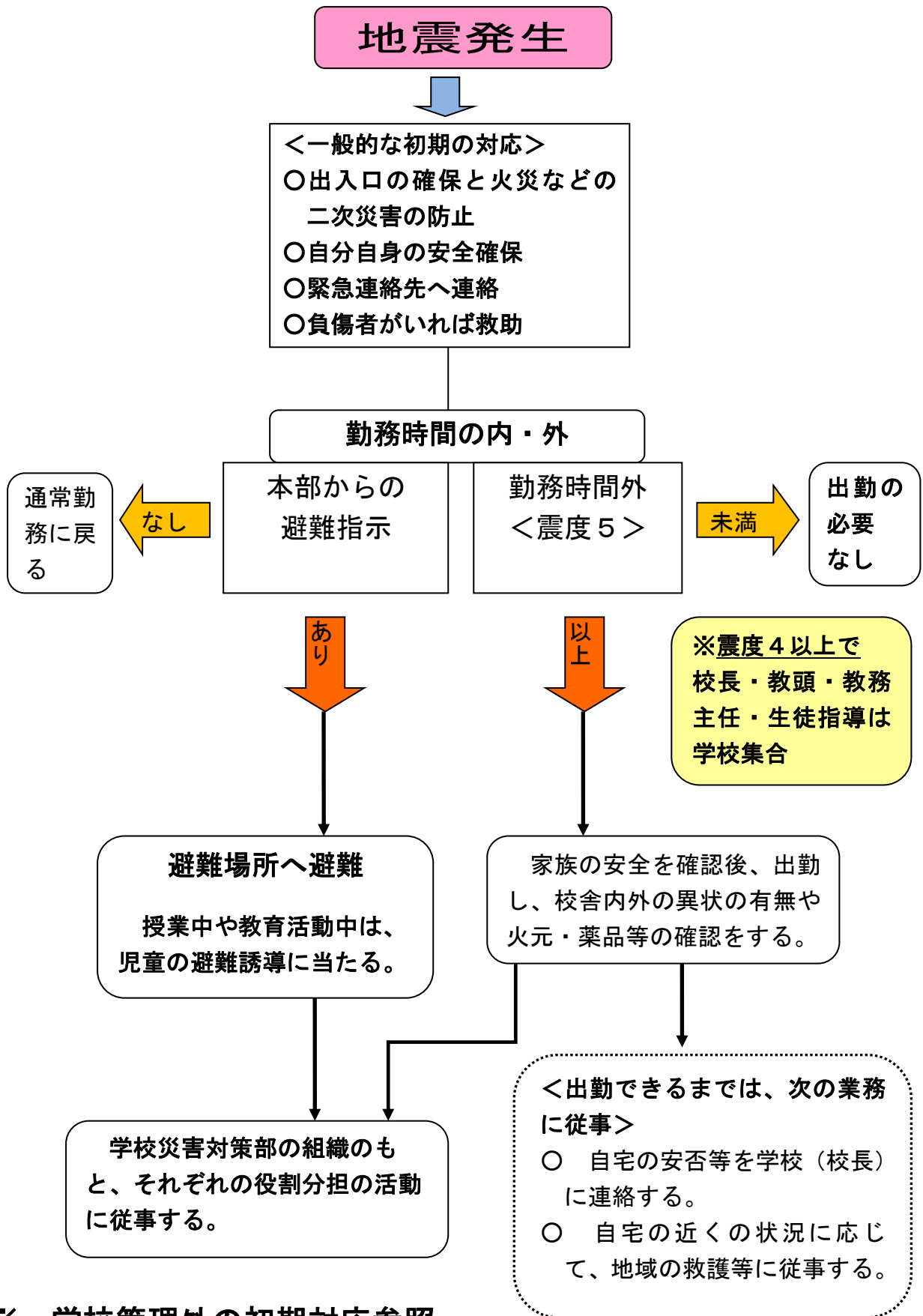


# 第3章 災害発生時における対応マニュアル

## 1 地震発生時の **校長** 対応マニュアル

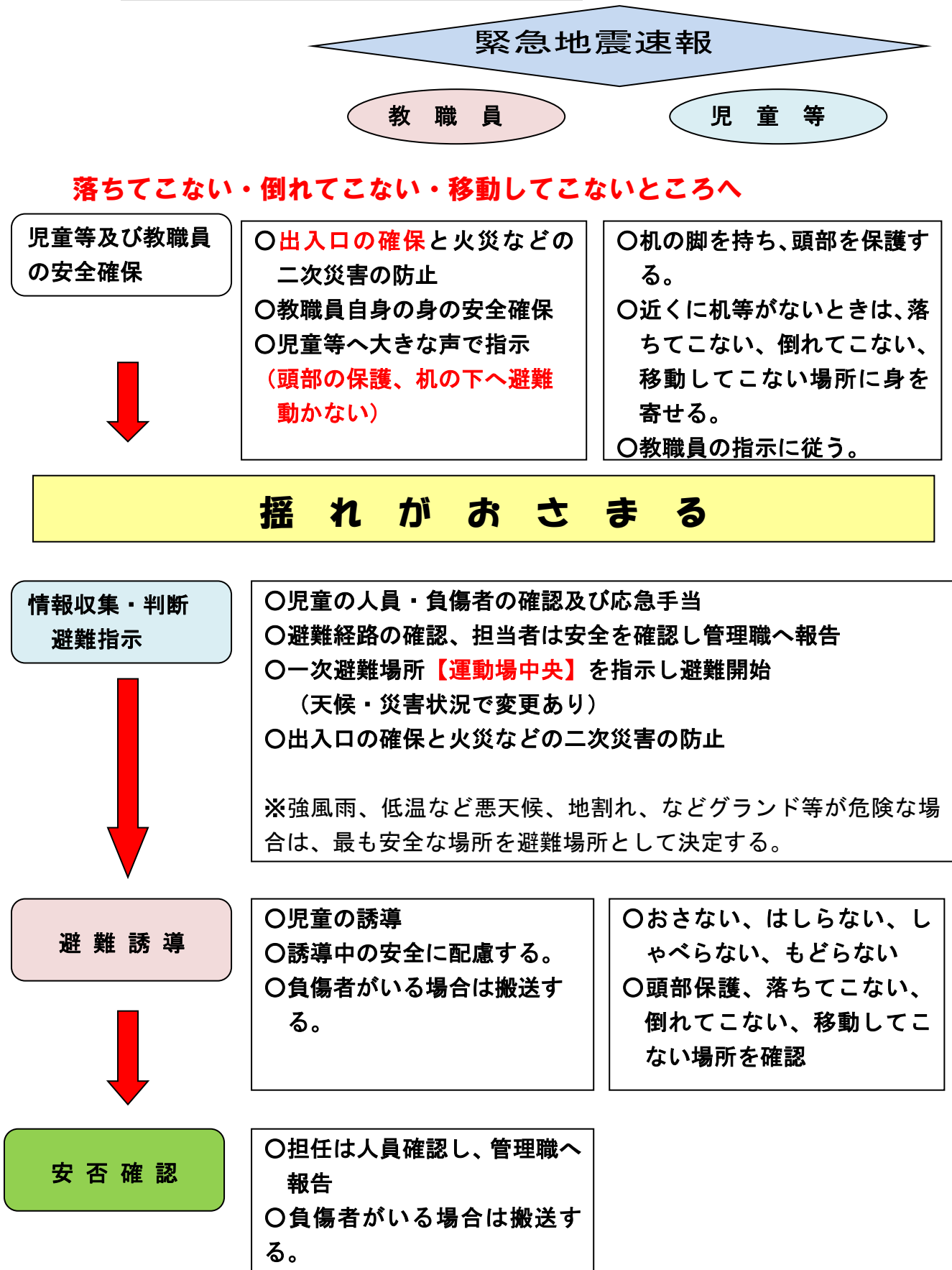


## 2 地震発生時の 教職員 対応マニュアル(勤務時間内・外)



### 3 地震発生時の初期対応

#### (1) 在校時の初期対応 (基本)



## (2) 授業中の具体的な初期対応

安全確保 → 避難誘導 → 安否確認

落ちてこない・倒れてこない・移動してこない

普通教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>机の下にもぐらせる。</li> <li>机の脚をしっかりとたせる。</li> <li>落下物に注意</li> <li>静かに落ち着いて行動させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;">避難指示により</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路の安全確認</li> <li><b>運動場中央</b>までの避難経路確認</li> <li>「お・は・し・も」等約束</li> <li>児童生徒等の不安緩和（声かけ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童の呼名</li> <li>②未確認児童の把握               <ul style="list-style-type: none"> <li>未確認児童等がいる場合は搜索</li> </ul> </li> <li>③負傷者の有無               <ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者がいる場合は救護班（養護教諭）へ</li> </ul> </li> <li>④管理職へ人数安否報告</li> </ul>
特別教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通教室と同様</li> <li>火の元の安全確認（実験器具等）</li> <li>落下物や転倒物の安全確認</li> </ul>		
体育館	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央に集める。</li> <li>落下物や転倒物に注意（バスケットリング）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>整列</li> <li>安全な出口から<b>運動場</b>に避難</li> <li>雨天の場合は、そのまま待機</li> </ul>	
校庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎や遊具から離れる。</li> <li>中央に避難</li> <li>防球ネット等転倒物に注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年毎に整列</li> <li>雨天の場合は、体育館に移動</li> </ul>	
プール	<ul style="list-style-type: none"> <li>水の中からあがらせる。</li> <li>プールサイドに座らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上履きを履く。</li> <li>バスタオルで体を守る。</li> <li>校庭に速やかに移動</li> </ul>	
移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>廊下、階段、昇降口にいたら座る。</li> <li>落下物、転倒物に注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な避難口から校庭（体育館）へ避難</li> </ul>	

## (3) 休み時間等の具体的な初期対応

安全確保 → 避難誘導 → 安否確認

普通教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>机の下にもぐらせる。</li> <li>机の脚をしっかりとたせる。</li> <li>落下物に注意</li> <li>落ち着いて静かに行動させる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; text-align: center;">避難指示により</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>避難経路の安全確認</li> <li>運動場鉄棒前までの経路安全確認</li> <li>負傷者の確認</li> <li>負傷者救護</li> <li>児童の状況把握</li> <li>安全に避難</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①児童の呼名</li> <li>②未確認児童の把握               <ul style="list-style-type: none"> <li>未確認児童がいる場合には役割分担に基づいて搜索</li> </ul> </li> <li>③負傷者の有無               <ul style="list-style-type: none"> <li>負傷者がいる場合は救護班（養護教諭）へ</li> </ul> </li> <li>④管理職へ人数安否報告</li> </ul>
特別教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>机の下にもぐる。</li> <li>落下物や転倒物に注意               <ul style="list-style-type: none"> <li>* ガスの元栓をしめる。</li> <li>* コンセントをぬく。</li> </ul> </li> </ul>		
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央に避難させる。</li> <li>落下物に注意</li> </ul>		
運動場	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎から離れさせる。</li> <li>まとまって避難させる。</li> <li>遊具から離れさせる。</li> </ul>		
移動中	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な場所（近くの教室等）で頭を守らせる。</li> <li>階段ではその場に座らせる。</li> <li>昇降口は転倒物に注意させる。</li> </ul>		

## (4) 校外活動時の初期対応



### ※ 校外活動に際しての事前確認及び事前指導

- ・ 見学先の避難経路・避難場所の確認と施設管理者等との安全面について打合せ
- ・ 校外活動時の留意事項の指導徹底（指導者の指示をよく聞く、一人で行動しない、トイレ等で集団から離れるときは連絡すること等）

## (5) 登下校時の初期対応

### 地震発生

教職員

児童等

児童等及び教職員の安全確保



- 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を探す
- 校内にいる児童に、落下物・転倒物・ガラスの飛散から身を守るように指示する。
- 安心するように声かけをする。

- 「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所を探す
- 看板、家屋の外壁、高いビルの窓ガラスなどの落下物から身を守る。

### 揺れがおさまる

学校

通学路

学校にいる児童等

登下校中の児童等

安全確認  
情報収集



避難・誘導



安全確認

- 児童の安全、校内の安全な場所を確認し、校内放送、ハンドマイク等で避難場所を指示する。

- 安全な場所へ避難誘導し、整列させ待機させる。(体育館)

- 児童等を点呼し、安否を確認する。

- 負傷者の確認、応急処置、医療機関への搬送等に教職員救護班が対応する。

- あらかじめ定めてある安全な場所へ避難するよう指示する。

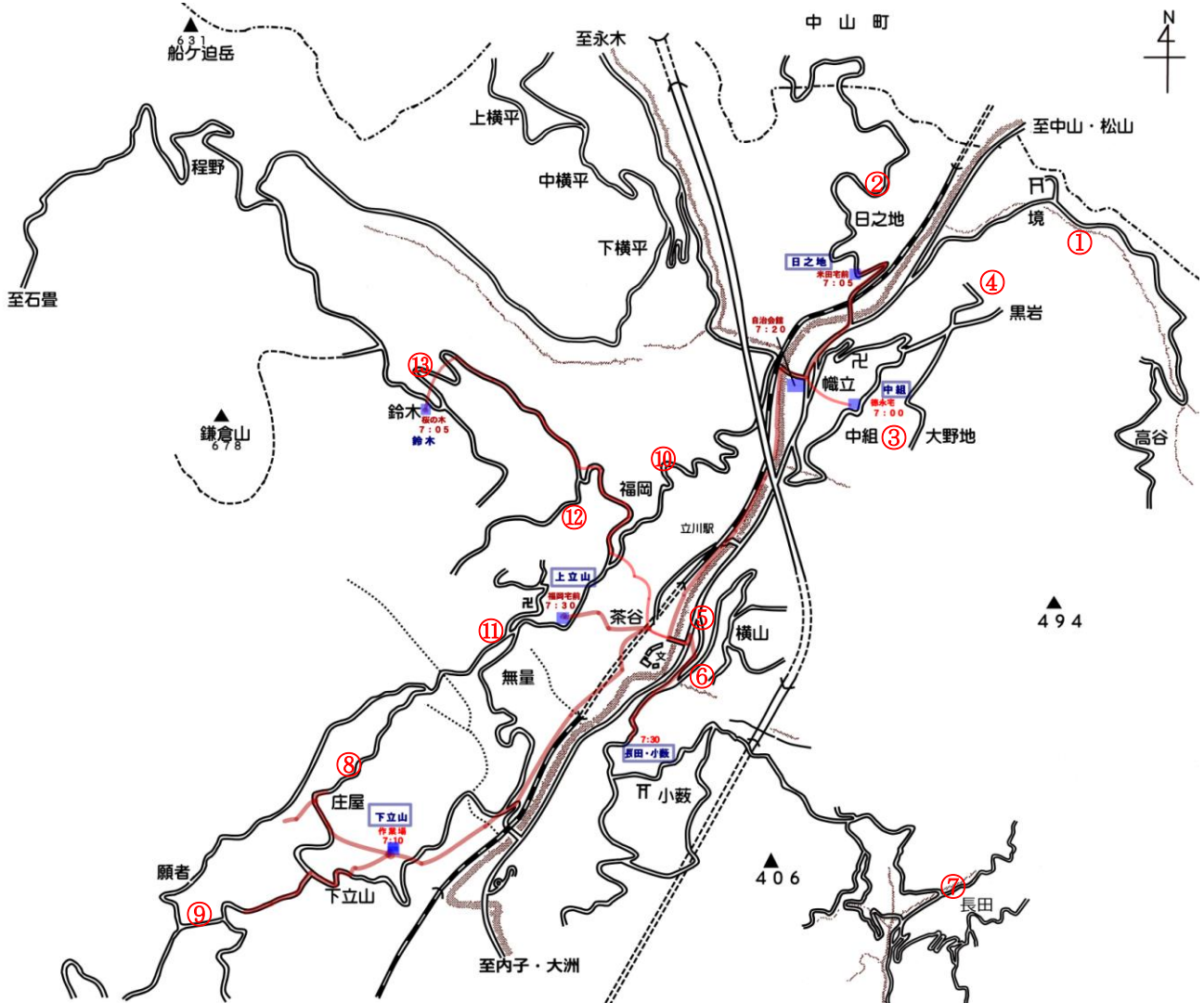
- 通学路の確認  
○避難場所の確認

- 自宅か学校あるいは近くの公園、空き地など、あらかじめ定めてある安全な場所へ直ちに避難する。
- 教職員・施設管理者の指示に従う。

- 教職員の指示に従って整列・点呼し、安否を報告する。

- 帰宅した場合は、できるだけ早く学校へ連絡する。

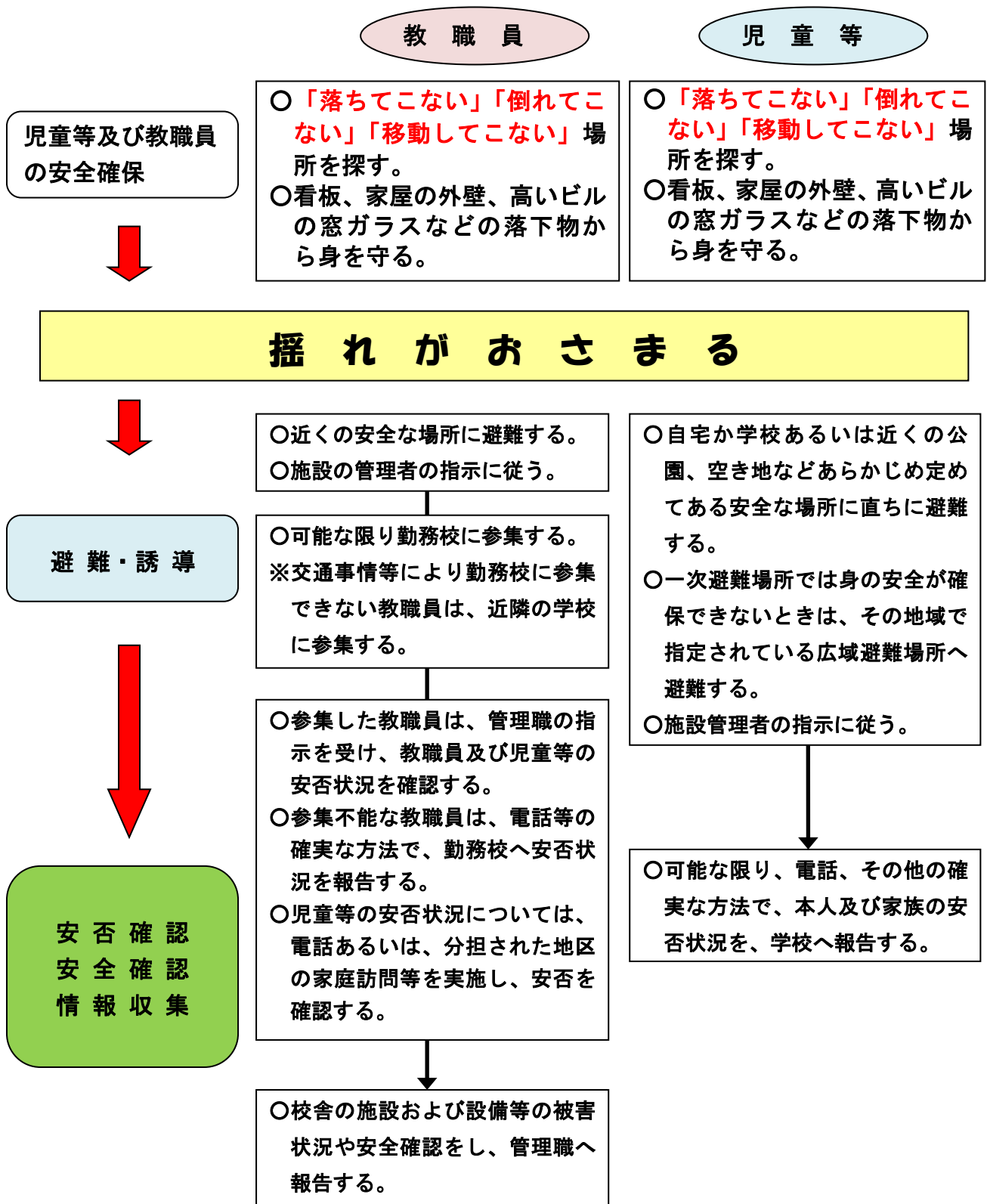
## (6) 立川小学校通学路マップ



### 立川小学校通学路マップ番号

番号	地区名	班名	番号	集合場所	登下校中の避難場所
1	日之地	境	①	立川自治館	自宅または立川自治館・学校
2	川中1	日之地	②	日之地公園	自宅または立川自治館・学校
3	川中2	川中中組	③	立川自治館	自宅または立川自治館・学校
4		黒岩	④	立川自治館	自宅または立川自治館・学校
5	立川中央 長田	茶谷	⑤	宮岡スタンド	自宅または学校
6		小藪	⑥	宮岡スタンド	自宅または学校
7		長田	⑦	車通学	自宅または学校
8	下立山	庄屋	⑧	坂の下	自宅または学校
9		願者	⑨	(作業場)	自宅または学校
10	上立山	福岡	⑩	新田宅	自宅または学校
11		無量	⑪	福田さんの家	自宅または学校
12		立山中組	⑫	福田さんの家	自宅または学校
13	立川袋口	鈴木	⑬	ゴミ捨て場	自宅または学校

## (7) 学校管理外 [休日・夜間] の初期対応





## (8) 安否確認

### 校外活動時・登下校時・休日・下校後

#### (1) 安否確認の方法

- 固定電話、携帯電話、家庭訪問等、その時点で可能な方法で行う。
- 通学路で、確認が取れない場合は、通学路をたどる。

#### (2) 安否確認者

- 学級担任が基本とする。
- 学級担任が来られないときは、その場にいる教職員または管理職とする。

#### (3) 安否確認の内容

- 児童及び家族の安否・けがの有無
- 被害状況（児童の様子、困っていることや不足している物資）
- 居場所（避難場所）
- 今後の連絡先・連絡方法

#### (4) 安否確認後の報告

安否確認の結果は、学校災害対策本部（校長）に報告する。

## 4 原子力災害時の対応

### ア 正確な情報提供

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 万一、原子力緊急事態が発生した場合には、国、県、町のテレビ、ラジオ等による緊急放送等により情報を収集する。</li> <li>○ 災害対策本部と綿密に連絡を取る。</li> <li>○ 事前に都道府県や市町の対応内容、児童等の取るべき行動などについて把握しておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一斉放送</li> <li>・ テレビ</li> <li>・ ラジオ</li> <li>・ 広報車</li> <li>・ インターネット等</li> </ul>
--	---

### イ 適切な退避と避難

<b>屋内退避</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 屋内に退避することは、屋根や壁などで放射線を遮り、外部被ばくを軽減する。</li> <li>○ 屋内の気密性を高めることで放射性物質の侵入を抑え、内部被ばくを抑えるようにする。</li> <li>○ 屋内退避は、避難と比べて日常生活に近く、テレビ・ラジオ等からの報道に接することができ、予測被ばく線量が小さいとき有効である。</li> </ul>	<b>児童等への指示</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドアや窓を全部閉める。</li> <li>・ 換気扇などを止める。</li> <li>・ 外から帰ってきた人は顔や手を洗う。</li> <li>・ 防災行政無線、広報車、テレビ、ラジオ等の正しい情報を得る。</li> <li>・ 食器をフタやラップでカバーする。</li> </ul>
<b>コンクリート 屋内退避</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンクリート建物は、木造家屋よりも放射線の遮蔽効果が大きく、気密性も高いので、内部・外部被ばくの防御効果が高い。</li> <li>○ 個人住宅の屋内退避では、被ばくの低減効果が小さい場合があり、状況により、コンクリート建屋への避難指示をする。</li> </ul>	<b>木造より防護効果がある。</b>
<b>避難</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難は、環境へ放出された放射性物質から遠くへ離れ、放射線による外部被ばく及び内部被ばくを防ぐ手段である。</li> <li>○ 避難に当たっては、県や市町の指示に従う。</li> </ul>	<b>避難する上での注意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合場所へは徒歩で、持ち物は最小限にする。</li> <li>・ ガス・電気の消化消灯をする。</li> <li>・ 戸締りをしっかりする。</li> </ul> <b>留意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣近所にも知らせる。</li> <li>・ 持病のある児童等は、常備薬を忘れずに持参する。</li> </ul>

### ウ 安定ヨウ素剤の保管・使用

- 避難所指定を受け、地域住民に使用する安定ヨウ素剤を校長室前キャビネットに保管している。施錠鍵は、職員室に保管する。
- 配布等については、内子町防災担当部局の指示に従う。

## 5 弾道ミサイルへの対応

### ア 正確な情報提供

<ul style="list-style-type: none"><li>○ ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージが流される。</li><li>○ 緊急速報メール等の緊急情報により正確かつ迅速な情報収集に努める。</li><li>○ 災害対策本部と綿密に連絡を取る。</li><li>○ 事前に都道府県や市町の対応内容、児童等の取るべき行動などについて把握しておく。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Jアラート</li><li>・ 防災行政無線</li><li>・ テレビ</li><li>・ ラジオ</li><li>・ 広報車</li><li>・ インターネット等</li></ul>
--	---

### イ 全国瞬時警報システム（Jアラート）作動時の基本的な行動指針

Jアラート（例）

「直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、または地下に避難してください。ミサイルが落下するものとみられます。直ちに避難してください。」

屋外にいる場合	できる限り頑丈な建物や地下に避難する。
建物がない場合	物陰に身を隠すか、地面に付せて身を守る。
屋内にいる場合	窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

### ウ 近くにミサイルが落下した場合

屋外にいる場合	口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
屋内にいる場合	換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。